

大島くるみ病院だより



日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 榎の木会

大島くるみ病院

〒939-0271

富山県射水市大島北野 48 番地

Tel0766-52-2580 Fax0766-52-8016

<http://www.kurumi.or.jp>



【今月の医療・介護情報】 排泄の介助

排泄の介助にも色々あって、トイレ誘導、トイレ介助、オムツ交換と介助される方の状態によって違ってきます。今回は主にオムツを使用される場合についてのオムツのあて方についてご紹介します。

★高齢者の排泄の特徴★

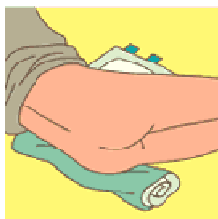
個人差はあるものの高齢者の排尿の特徴は1日の総尿量は減り、排尿回数が増え、1回辺りの尿量が減少していく傾向があります。昼に比べて夜間の尿量が増えるのも一般的な傾向です。

★体の状態に合わせた紙オムツ、パッド選び★

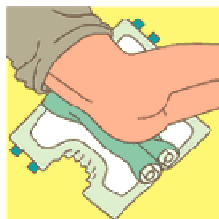
オムツを使う方のお体の状態や生活リズムなどを把握したうえで、吸収量や形状を目安に昼用・夜用・長時間用を状況に応じて使い分けるようにしましょう。

★紙オムツのあて方★

①肩と腰に手を添えて、横向きに寝返りさせます。
この時おしりまわりを前から後ろにかけて清拭し、手前側の汚れたオムツを丸め、おしりの下に挟み込みます。



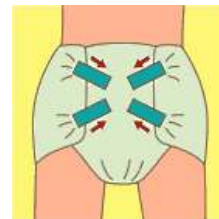
②新しい紙オムツの端を丸め、おしりの下に挟みこみます。
この時、オムツは腰骨（ウエストのくびれ）の上まで覆えるように、オムツの縦の中心線が体の中心（背骨の延長線上）にくるようにしてしめます。



③今度は反対向きに寝返りさせ、汚れたオムツを抜き取り、新しいオムツを広げて整えます。

④仰向けの姿勢に体を戻し、新しいオムツを太もものつけねに沿わせながら広げて、へその上まで覆います。

⑤下のテープは上向きに、上のテープは下向きに取り付けます。



★もれない工夫★

オムツとパッド併用したり、排便排尿の流れを予測したあて方でもれないよう工夫すると良いでしょう。

（使い方ワンポイントアドバイス）

※パッドはオムツの立体ギャザーにおさまる大きさのものを使ってください。立体ギャザーが横もれを防止します。

※多くの尿とりパッドの裏にはシートがはってあるため、尿が下に透る事はありません。

パッドを何重にも重ねると隙間が出来たり外側のオムツの立体ギャザーを潰したりすることがあるので注意が必要です。

10月happy birthday



鷺北なおみ様 87 歳
高木 勉様 77 歳
岩坪きみ子様 94 歳
五十嵐ふみ様 85 歳
竹田 ミツ様 74 歳

馬淵 すみ様 87 歳
焼田ミユキ様 87 歳
山屋 信子様 86 歳
土屋ミチコ様 75 歳
土谷あき子様 82 歳

矢後あき子様 78 歳
園木 ミイ様 93 歳
大森 貞子様 80 歳
山田 和夫様 75 歳
藤 進作様 73 歳



今月の顔



おめでとうございます。
いつまでも素敵な笑顔
でいてくださいね☆

五十嵐ふみ様

介護ミニ知識

ボディメカニクス

「ボディメカニクス」という言葉をご存知ですか？
「身体力学」と訳されていますが、簡単に言うと効率の良い体の使い方のことです。
ボディメカニクスを活用すると安全で楽に移動することが出来ます。
介護者が身体を痛めることの無いよう、またお年寄りにケガをおわすことの無いよう、介護する方もされる方も持てる力を出来る限り活用し、協力し合って負担を軽くしましょう。

ボディメカニクスの基本原則

両足を前後・左右に開き体を支える面積を広くとる。
膝を曲げ、腰を落とし重心を低くする。
腰痛を避けるため体をねじらないこと。
力をより活用するために対象者にできる限り近づいて介助する。
重心を分散させないように対象者の体は小さくまとめ、摩擦面を少なくする。
対象者の体は水平に移動させると安全・安楽に動作できる。
この原理を合理的に応用し大きな筋群（背筋や腹筋など）を使う。手先だけは×



9月25日

消防訓練がありました



射水消防署より
消火器の使い方
などの講習を受けました



職員一同 真剣に
取り組んでいます！

お知らせ

・ホームページをリニューアルしました。

インターネットでディケア・ショートケア室の予約状況を確認したり、入院中の患者様またはショートケアに入所中のご利用者様へのお見舞い状をお届けする「お見舞いメールサービス」など便利な機能を追加しましたので是非ご利用ください。

「院内行事」や「研修会」などの様子も随時更新。「ボランティア募集」も受け付けております。他にもより詳しい内容でお送りしていますので、たくさんのアクセスお待ちしております！

・朝夕と肌寒くなってきましたので、患者様の衣替えや掛け物の準備をお願いします。

（編集後記）

政界では福田内閣が発足しました。どう変わっていくのが楽しみです。

さて、当院でもホームページがリニューアルしました。

私達も心機一転、身近な所からより良いサービスをお届け出来るようがんばりたいと思います！

基本理念

患者様の生命と人権を尊重した医療と介護に努めます。
信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。
地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。

職員は常に自己研鑽に励み、医療・介護の質の向上に努力します。 平成 18 年 4 月 1 日改定

運営指針

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し、安心と納得の医療に努めます